

青年部報

平成21年12月24日

発行：北九州市

私立保育園連盟

青年部会

発行人：竹内 浩二

編集人：鷲峰 康尚

《青年部会 部長挨拶》

竹内 浩二（光沢寺第二保育園）

今年度（平成二十一年）四月より、北九州市私立保育園連盟青年部会の部長に就任しました。

二年間の任期をしっかりと務め、部員相互に積極的な活動を務めたいと思っています。

この度、北九州市私立保育園連盟青年部会の部報を発行することとなり、以前から青年部会の活動を皆様にご理解いただきたく思っており、漸く実現することが出来ました。

青年部会では、連盟の研修はもとより、部会内での研修も行い研鑽しております。また、連盟の各行事の積極的参加とお手伝いをさせていただきます。

今、政権が交代し保育制度の動向がわからない状況で、子どもたちの最善の利益を守るために何を大切にし、決して妥協してはならないものを追求し活動して行きたいと考えております。

来年（平成二十二年）十月に、全国私立保育園連盟青年会議の全国大会を北九州で開催します。三十回の節目となる記念大会で、大会の成功を目指し部員一同頑張っております。青年部会の活動を理解していただき、ご指導をお願いすると共に、これからもどうぞよろしくお願い致します。

《活動報告》

五月一日	総会
六月十二日	ソフトボールを通じての交流会
六月二十二日	例会
七月二十二日	例会
八月二日	わっしょい百万踊りへの協力
八月六日	例会
八月二十七日	全国私保連青年会議
二十八日	九州ブロック 熊本大会
九月十七日	研修会
十一月三日	北九州市保育研修大会への協力
十一月十八日 十九日	全国私保連青年会議 秋田大会
秋～冬	研修会（二～三回）
冬	福岡県青年部会との 合同研修会
冬	市保育課との ボウリング交流会
三月	青年部会OBとの懇親会
毎月	例会

《活動予定》

《 総 会 》

〔日程〕平成二十一年五月一日

〔場所〕レインボープラザ五階会議室

〔内容〕部長挨拶・議長選出・平成二十年度事業報告・収支決算報告・その他の議題・新入部員挨拶・その他

〔参加〕十八名（他に委任状二名）

五月一日、レインボープラザにおいて、平成二十年度青年部会の総会が行われました。当日議長には、こじか保育園・山崎先生を選



出し、円滑に議事が進められ、無事平成二十年度事業報告・収支決算を議決することができました。また、本年度も北九州市内保育園関係者の皆様にはいろいろとご迷惑をおかけすることもあるかもしれないませんが、青年部会一同より充実した研修会・例会を行ってまいります。

【新役員紹介】

部長 竹内 浩二（光沢寺第二保育園）

部長補佐 深川 教真（竜光保育園）

副部長 橘原 義晃（小倉北ふれあい保育所）

書記 鷹取 和教（三郎丸保育園）

会計 上原 剛（浅川保育園）

監事 伊賀良 昌宏（花園保育園）

〃 橘原 法道（本城西保育園）

記録 鷲峰 康尚（木屋瀬保育園）

総務 西村 慎治（みのり保育園）

〃 田中 信一郎（幸神保育園）

研修・研究 山本 博文（別所保育園）

【ソフトボールを通じての交流会】

六月十二日、三萩野野球場において、真宗本願寺派・企救組とのソフトボールを行いました。当日は白熱としたゲームとなり、最後には互いの健闘をたたえあい、保育とは違った交流を深めることができました。

【わっしょい百万踊りへの協力】

八月二日、毎年恒例のわっしょい百万踊りが開催され、今年も保育所連盟のサポート役として、青年部会も協力いたしました。主な役としては、休憩時のお茶配りですが、青年部員も北九州市民として楽しく参加することができました。

【研修会】

〔日程〕平成二十一年九月十七日

〔場所〕レインボープラザ五階会議室

〔講師〕藤岡 佐規子先生

〔内容〕子どもの視点に立つ保育

去る九月十七日、本年度最初の研修会を開催いたしました。

今回、藤岡先生にお願いした理由としては、子どもたちの視点に立つ保育について研修させていただくと共に、来年北九州市で開催される、全国私立保育園連盟青年会議 全国大会のテーマが、『子どもたちの視点で』であり、改めて藤岡先生に講演していただくことで、再度そのことを再確認し、よりよい大会内容にしていこうと



青年部会一同意識を高めることが目的でありました。講演内容としては、現政権による今後の保育の見通しから始まり、今の保育現状の問題点など幅広く講演していただきました。

《全国私保連青年会議九州ブロック大会》

〔日程〕平成二十一年八月二十七～二十八日

〔場所〕熊本市 熊本交通センターホテル

〔講師〕慈恵病院看護部長 田尻由貴子氏

〔参加〕十五名※北九州市青年部会からの参加

八月二十七～二十八日、熊本市において第十一回全国私立保育園連盟青年会議九州ブロック大会が開催されました。

北九州市青年部会からは十五名が参加し、講演会・懇親会を通じて、九州各県の青年部員と交流を深めることができました。なかでも、今回講演していただいた方は、全国で初めて「赤ちゃんポスト」を設置された慈恵病院の看護部長 田尻由貴子氏で、同じ命を預かる者



として「赤ちゃんポスト」の現場から見えるものに耳を傾け、子育ての更なる理解を深め合いましたよという内容の講演であり、これまでとは違った角度から、普段の保育のあり方を見つめ直すことができました。

〔九州ブロック大会に参加して〕

上原 剛（浅川保育園）

八月二十七日から八月二十八日の二日間にわたり熊本で行われた第十一回全国私立保育園連盟青年会議九州ブロック大会に参加しました。

研修会では、いのちの講演会というテーマに添って慈恵病院看護部長 田尻由貴子氏から「『このとりのゆりかご』から見える子育て」の講演がありました。

平成十九年に慈恵病院では日本で初めてとなる通称「赤ちゃんポスト」こと「このとりのゆりかご」の設置にいたっています。「子どもの命の救済か」「親の子捨て助長か」とマスコミ等で多くの物議をかもしたことは記憶に新しく、私も多くのことを考え研修会に臨みました。

「ゆりかご」が設置され二年で「ゆりかご」に預けられた件数は四十二件。児童の遺棄事件は二十件減とこれが「ゆりかご」が救った命の数です。

また、「ゆりかご」は母親が「ゆりかご」を使う前に相談をしていたことで、失われる命を救うことを本来の目的にしており、それに伴い熊本市では職員を増員して二十四時間体制で電話相談を受け付ける体制を整え、その結果、相談でいのちが救われた事例として百三十件もの報告があったそうです。相談

の中でも若年層での妊娠による相談が多く、事例を挙げての説明があり、性行為の低年齢化の社会問題が大きく関係しており、今後の課題として学校での性教育の中でいのちの教育を取り入れ行なっていくことを挙げられていました。

そして、ドイツでの取り組みを例に挙げられ、すでに八十箇所もの「ゆりかご」となるものがあり、匿名での出産、里親、養子縁組の推進など命を守る取り組みがなされ、社会で子どもを守り育てるといふドイツでの子どもの人権への意識の高さを知りました。

最後に講演会での言葉の中で、本来は必要なく、あってはならないものなのに少しの必要性でそれが大きくなり、絶対必要なものになってしまふ。まさに、保育園がそうであり、「ゆりかご」はそうなのは絶対にいけない。



親が楽になる政策ではなく、本当に子どもの為の政策を考えなければ、「ゆりかご」は存在したままになり、なくならないと言われ今後の児童福祉のあり方をいろいろと考えさせられる研修会となりました。

《全国私保連青年会議 秋田大会》

〔日程〕平成二十一年十一月十八〜十九日

〔場所〕秋田市 秋田キャッスルホテル

〔参加〕十六名※北九州市青年部会からの参加

十一月十八〜十九日、秋田県秋田市において第二十九回全国私立保育園連盟青年会議秋田大会が開催され、東北という北九州市からは遠方の開催地でしたが、青年部会からは十六名が参加しました。大会は、開会式から各分科会へと移り、夜の懇親会では、本物の『なまはげ』が会場に現れるなど、各県の青年部員とおおいに盛り上がり、交流を深めることができました。また、懇親会の終わりに、北九州部員全員で来年開催地として映像



と挨拶にてアピールを行い大きな拍手をいただきました。二日目はテレビや映画でご活躍されている俳優の柳葉敏朗さんの講演があり、ふるさと秋田での子育てによって学んだ熱き思いを語っていただきました。

【青年会議秋田大会に参加して】

田中 信一郎（幸神保育園）

秋田市で行われた第二十九回全国私立保育園連盟青年会議秋田大会に参加した。

開会式に引き続き、第一分科会から第五分科会に分かれ分科会が開催され、私の参加した第一分科会では『子どもの育ちを支える保育制度の展望』をテーマにしたパネルディスカッションが行われた。はじめに川鍋慎一氏（厚労省雇用均等・児童家庭局保育課課長補佐）より今議論されている新しい保育制度についての説明がなされ、菅原良次氏（全私保連常務理事）よりその議論の現状と全私保連としての方向性を語っていただいた。又、讃岐信孝氏（秋田市民間保育所協議会会長・こばと保育園園長）より秋田県の現状を踏まえ、保育現場からの意見を語っていただいた。後半は質疑応答の時間が設けられ、今後青年会議としていかに行動していくべきか考えさせられる貴重な時間となった。

二日目は、全私保連常務理事の菅原良次氏による保育情勢報告から始まった。新政権への対応、新政権下での保育政策と私たちの提案、「新しい制度設計」と保育制度改革の意義の三項目をポイントに、「第三次勧告」に対する対応や、二十二年度概算要求や事業仕分での取り上げられている問題等の説明がなされた。全私保連の基本的考え（八項目）と現在の検討

状況という説明では、今後特に注目すべき個所が多くあったと思う。

保育情勢報告終了後、俳優の柳葉敏郎氏による記念講演が行われた。現在の秋田での子育てについての話の中では、「いつまでたっても親は親。友達ではない」「周りにはいつも危険がある事を教える」という二つの基本理念の下子育てをしている事や、「しつけとは社会生活の中で基本的な事を教える事」といったような独自の育児理論を語っていただいた。

記念講演終了後、閉会式となり、その中で来年の第三十回北九州大会の最後のアピールを夜部実行委員長を中心に参加した部員全員で行い、大会は終了した。この秋田大会での経験を生かし、来年の北九州大会を成功させるために、部員一同力を合わせていきたいと思う。

〈編集後記〉

今回初めて、青年部会の部報を発刊させていただきました。とにもかくにも何もかもが初めてのことであり、内容・構成等まだまだ未完成であったり、不備も多くあったと思います。この先、この青年部報がよりよいものとなり、少しでも北九州の保育に役に立てるよう頑張っていきたいと思いますので、どうぞ温かく見守っていただきますようお願い致します。